

- | | |
|--|----|
| 1. 青年期に身体が男性・女性らしく変化すること。 | 1 |
| 2. 自我意識の高まる青年期前期に、周囲に対し反抗的態度を示す時期。 | 2 |
| 3. WORD 18世紀仏の啓蒙思想家ルソーによる青年期を表す言葉。 | 3 |
| 4. PERSON 青年期を「第二の誕生」と表した18世紀仏の啓蒙思想家。 | 4 |
| 5. WORD 20世紀独の心理学者レヴィンによる青年期を表す言葉。 | 5 |
| 6. PERSON 青年期を「マージナル・マン（境界人・周辺人）」と表した20世紀独の心理学者。 | 6 |
| 7. 成人（大人になること）とみなされる儀礼。近代社会では不明瞭に。 | 7 |
| 8. 20世紀米の心理学者エリクソンが提唱した、社会的義務の遂行を猶予される期間や、それにとどまろうとする心理状態を表す言葉。 | 8 |
| 9. PERSON 20世紀米の心理学者で、成人前の猶予期間やそれにとどまろうとする心理状態をモラトリアムと表した心理学者（アイデンティティも）。 | 9 |
| 10. 無意識下に抑圧された固定観念・強迫観念の「複合体」。精神分析学の用語で、「劣等感」の意味で用いることが多いが、それは特に「劣等コンプレックス」のこと。青年期の不安と悩みの一つ。 | 10 |
| 11. 青年期の不安と悩みの一つ。孤立ではない。プラス面は自分との対話。 | 11 |
| 12. 青年期の不安と悩みの一つ。「うとんじられ、外されているのでは」。 | 12 |
| 13. 二つの相反する欲求が対立し、板挟みになって迷い苦しむ状態。
語源：葛（かずら）や藤のつるのもつれ・からみあい | 13 |
| 14. 呼吸・飲食・排泄・睡眠・性欲など、生命維持や種族存続のための欲求。 | 14 |
| 15. 愛情・集団への帰属心・真善美などの価値などを求める欲求。 | 15 |
| 16. 20世紀米の心理学者マズローが、人間の欲求を五つの段階（生理的欲求→安全の欲求→所属と愛情の欲求→自尊の欲求→自己実現の欲求）に分けた。 | 16 |
| 17. PERSON 欲求の五段階説を唱えた20世紀米の心理学者。 | 17 |
| 18. 欲求不満による不安や緊張から自我を守るための自動的な心の働き。 | 18 |
| 19. もっともらしい理由をつけて、自分の行動を正当化する防衛機制。 | 19 |
| 20. 小さな子どもの状態に逆戻りしてしまう防衛機制。 | 20 |
| 21. 社会的価値のある活動に向け変えて欲求不満を満たす防衛機制。 | 21 |
| 22. PERSON 人間の性格を、個人の求める文化的価値に基づき6つに分類した、19・20世紀ドイツの哲学者・教育学者。6つの類型は、経済型・権力型・審美型・理論型・社会型・宗教型。 | 22 |
| 23. PERSON 人間の性格を、個人の体型に基づき3つに分類した、19・20世紀ドイツの精神病理学者。3つの類型は、やせ型（分裂気質）・肥満型（躁鬱気質）・筋骨型（粘着気質）。 | 23 |
| 24. PERSON 人間の性格を、個人の心的エネルギーの方向性で内向型と外向型の2つに分類した、19・20世紀スイスの心理学者・精神医学者。 | 24 |
| 25. PERSON 20世紀、アメリカの心理学者。一人ひとりの人間を、その人ならではの全人的なパーソナリティ（人格）を中心に把握することの大切さを唱えた。それは、能力・気質・性格の3つの要素であるとする。 | 25 |

T. Q. 「青年期はどのように定義されているか？」

T. A.

青年期は何歳から何歳までとははっきりと決まっていなくても、身体の第二次性徴と自我が目覚めた時からその平衡・成熟までとされていて、それは「第二の誕生」と呼ばれている。また青年のことを、「周辺人（マージナル＝マン）」と呼んだりもする。近現代や文明社会では、この期間が長くなる。